

2010年(平成22年) 3月28日発行

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1
☎0595-63-7402 ☎64-2560 ✉info@city.nabari.mie.jp
http://www.city.nabari.lg.jp
携帯版 http://www.city.nabari.lg.jp/m_index.htm
バーコード読み取り対応の携帯電話端末から携帯版へ



▶ 主な内容 P1-2...伊賀地域救急輪番表 P3-6...ふるさとい〜な P7...ひまわり・暮らしの情報 P8...平成22年度予算



4月4日は名張市長選挙投票日 ●投票時間:午前7時〜午後8時
●期日前投票:市役所で3月29日(月)〜4月3日(土) 午前8時30分〜午後8時

伊賀地域の3病院で、6月までは救急輪番を継続。その間、新しい体制への移行準備を進めます。



伊賀地域の3病院で、6月までは救急輪番を継続。その間、新しい体制への移行準備を進めます。

伊賀市と確認書を結びました。

より深刻な状況に追い込まれる救急輪番体制

4月〜6月は「救急輪番体制」を維持しながら、7月以降の「機能分担」に向けて準備を進めます。

救急医療体制の行方

医師不足を、どのように乗り越えていくかー

岡 地域医療室 ☎63・6970

4月から6月までは、名張市立・上野総合市民・岡波総合の3病院による伊賀地域救急輪番体制を維持していくこととなりました。
ただし、医師不足が進む中、今後も安定的に救急輪番体制を維持していくことは、難しい状況です。
そこで、市は、名張市立病院と上野市民総合病院のいずれかに二次救急機能を集約する「機能分担」などについて、伊賀市と協議を進め、3月23日、これらを協力して実施していく「確認書」を締結。より安定的な救急医療体制の整備に向け、取り組んでいきます。



<切り取り線>

伊賀地域救急輪番表

【小児科以外の診療科】

(小児科は裏面)

24時間体制で受診可能な
医療機関を紹介
救急医療情報センター

☎ 64-1199

音声・ファクス案内は
☎ 0800-100-1199
(通話料無料)

※IP電話などで上記につながらない場合
☎ 082-250-5620 (通話料有料)
【インターネット】医療ネットみえ
http://www.qq.pref.mie.jp/

小児科医による夜間の電話相談
みえ子ども医療ダイヤル

☎ #8000

【受付時間】毎日実施
午後7時30分〜
午後11時30分

※ダイヤル式・IP電話などで上記につながらない場合 ☎ 059-232-9955

実施時間帯

- ◆平日…午後5時〜翌日午前8時45分
- ◆土・日曜日、祝日、年末年始…午前8時45分〜翌日午前8時45分
- ◆平日昼間(午前8時45分〜午後5時)は、従来どおり名張市立病院で二次救急を実施

名…名張市立病院 上…上野総合市民病院 岡…岡波総合病院

平成22年4月

日	月	火	水	木	金	土
				1名	2岡	3上
4岡	5上	6名	7岡	8名	9上	10名
11名	12名	13名	14上	15名	16岡	17名
18岡	19名	20名	21岡	22名	23上	24名
25名	26岡	27名	28上	29名	30岡	

- ◎重症(二次救急)患者が対象です。詳細は病院によって異なります(裏面参照)。
- ◎救急車の適正利用をお願いします。
- ◎重症患者が重なり、診られない場合があります。
- ◎非当番日は救急受け入れを行いません。

輪番日に変更が生じる可能性があるため、輪番表は1ヵ月毎に掲載してまいります。
なお、5月の救急輪番表は、広報なばり4月3週号に掲載する予定ですので、左記4月の表の上に切り取って貼り付けるなどしてご活用ください。

2ページへ続く

今後の救急医療を考える3つのキーワード

【機能分担】

二次救急を担う病院と回復期を担う病院とに、病院機能を分けるという考え方。救急を担う病院に医師を多く集めるなど、限られた医師の公立病院間での配置を工夫し、二次救急の継続を図ります。

【経営統合】

機能分担を円滑に進めていくためにも、公立病院の経営統合が必要です。平成23年度を目途に、両市で一部事務組合など新たな運営組織の設立に向けて取り組みます。なお、統合前の病院の財産や債務などは、各市で処理します。

【拠点病院】

より高度で安定的な医療体制を築いていくための伊賀地域の中核となる病院。医師確保、財源、病床の見通しを踏まえつつ、概ね5年から10年を目途に、拠点病院の建設に向けて取り組みます。



名張市の救急出場件数は年々増加し、昨年中は、2,854件と過去最高となりました。救急車で運ばれた人の約6割は、医療機関で処置をした後、すぐに帰宅できる軽症でした。また、明らかに緊急性が低いと思われる要請や夜間・休日に診てもらえる病院が分からないので救急車を呼ぶといった利用も増えています。

適正な利用かどうかの線引きは難しいですが、症状が軽いとき、自分で病院に行けるときなどに、「救急車で行けば優先して診てくれるだろう」「救急車のほうが早くて便利かな」といった利用はおやめください。

☎ 消防救急室 63-5990

救急車の適正利用をお願いします



「伊賀地域医療体制整備計画検討委員会」は、救急輪番を担う3病院の院長、伊賀・名張両市の市長のほか、両市の医師会長、市民、三重大学長、伊賀保健所長、奈良県立医大付属病院院長の12人で構成。昨年8月以降、4回の会合を重ね、医師不足への対応や救急医療体制整備などについて議論されています。



伊賀市との「確認書」に示される内容は―

伊賀市と結んだ医療体制に関する「確認書」は、次の方針などについて、相互に協力して実施していくことを確認したものです。
▼7月以降も二次救急の維持が困難な場合、名張市立病院と上野総合市民病院のいずれかが、二次救急機能を担い、もう一方が、



「機能分担」などの実現に向けて取り組みます

「確認書」に示された方針は、昨年8月以降、救急輪番を担う3病院の院長や、伊賀・名張両市の市長などで構成される「伊賀地域医療体制整備計画検討委員会」で、検討・合意されてきたものです。2月17日に開催された直近の検討委員会(第4回)でも、「救急輪

番体制の維持は困難」「両市間で正式な経営統合の合意が必要」など、早急に機能分担などを実施することが必要だといった意見が出されています。
一方、伊賀・名張の両市議員で構成される「伊賀市・名張市議会地域医療問題研究会」でも、伊賀地域の医療体制について議論されています。研究会からは、新たな救急医療体制の早急な実現などが盛り込まれた「地域医療体制整備に関する中間提言」が伊賀・名張の両市長に提出されています。これらを踏まえ、市では、伊賀市とともに、経営統合や機能分担などを実行に移しながら、より安定的な救急医療体制の整備に向け、取り組んでいきます。

救急輪番に代わる「機能分担」とは？ 公立2病院を、救急を担う病院と回復期を担う病院に分け、医師の配置を工夫。医師不足に対応します。



輪番病院の受け入れ対象は、二次救急が必要な重症の患者です。救急車で搬送でも軽症の場合は応急診療所への搬送となります

名張市立病院 61-1100
【百合が丘1-178】
救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡してください(担当医師が判断)。
事前に連絡がない場合はお断りします。

上野総合市民病院 24-1111
【伊賀市四十九町831】
開業医または応急診療所の紹介、救急車での搬送のみ受け入れます。
※小児救急の受入は行っていません。

岡波総合病院 21-3135
【伊賀市上野桑町1734】
救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡してください(担当医師が判断)。
事前に連絡がない場合はお断りします。

名張市応急診療所 63-3913 【朝日町1361-4】
【診療科目】内科・小児科(休日・夜間に応急的な処置・投薬を実施)
【診療受付時間】
平日(月～土曜日)・午後8時～午後11時
休日(日曜日・祝日・お盆・年末年始)・午前9時～正午
午後3時～午後5時
午後8時～午後11時

名張市立病院 小児科 二次救急医療体制
時間表: 曜日(日) 月 火 水 木 金 土 日
時間内(午前8時45分～午後5時)
時間外(午後5時～翌朝午前8時45分)